

III 平成13年度社会保障財源の概要

平成13年度の社会保障財源の総額は89兆9,903億円である。

(1) 項目別割合をみると、社会保険料が61.9%、税が29.7%、他の収入が8.4%となっている。

(2) 対前年度比は0.18%の減少となった。

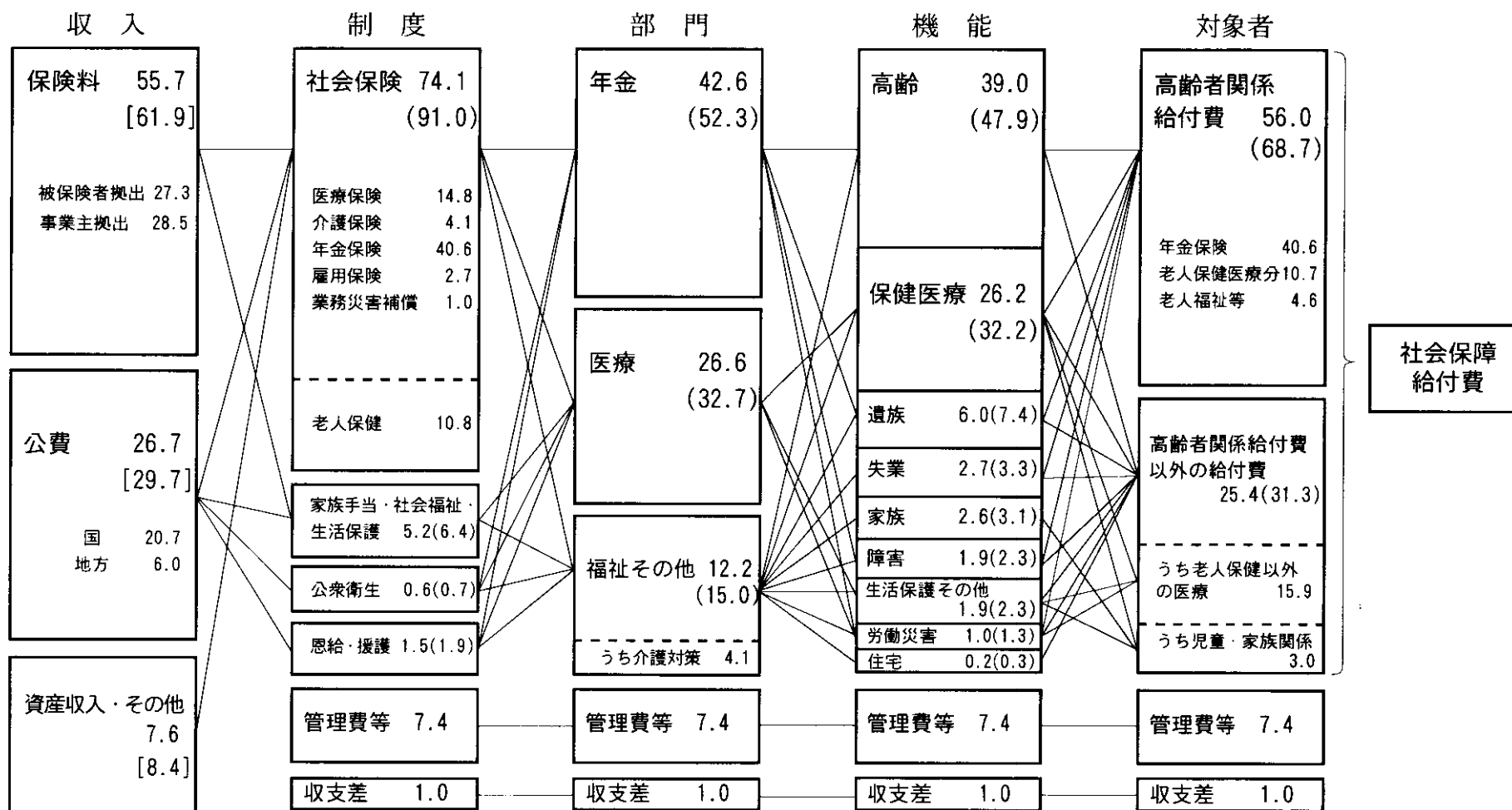
表7 項目別社会保障財源

	平成12年度	平成13年度	対前年度比	
			増加額	伸び率
	億円	億円	億円	%
計	901,562 (100.0)	899,903 (100.0)	△ 1,659	△ 0.18
I 社会保険料	549,694 (61.0)	557,366 (61.9)	7,672	1.40
事業主拠出	283,106 (31.4)	284,563 (31.6)	1,457	0.51
被保険者拠出	266,589 (29.6)	272,804 (30.3)	6,215	2.33
II 税	252,184 (28.0)	266,922 (29.7)	14,738	5.84
国	197,066 (21.9)	207,075 (23.0)	10,009	5.08
地方	55,118 (6.1)	59,847 (6.7)	4,729	8.58
III 他の収入	99,684 (11.1)	75,615 (8.4)	△ 24,069	△ 24.15
資産収入	64,976 (7.2)	43,464 (4.8)	△ 21,512	△ 33.11
その他	34,708 (3.8)	32,151 (3.6)	△ 2,557	△ 7.37

(注) ()内は構成割合である。

図3 収入、制度、部門、機能、対象者からみた社会保障給付費（2001（平成13）年度）

（単位：兆円、％）



(注)

1. 「児童・家族関係」は、社会保障給付費のうち、医療保険の出産育児一時金、雇用保険の育児休業給付、保育所運営費、児童手当、児童扶養手当等である。
2. 平成13年度の社会保障収入は90.0兆円（他制度からの移転を除く）であり、[]内は社会保障収入に対する割合。
3. 平成13年度の社会保障給付費は81.4兆円であり、()内は社会保障給付費に対する割合。
4. 「収入」から「制度」の「管理費等」、「収支差」への矢印は省略した。